

パブリックコメント「新垂水図書館基本方針（案）」—概要版—

1. 現在の垂水図書館

- ・平成3年11月に開館
- ・専有面積 686 m²
(人口千人あたり地域図書館中2番目に狭い)
- ・蔵書冊数 約9万1千冊
- ・年間来館者 約45万人
- ・利用者は高齢者の割合が高く若年層は少ない

2. 市民ニーズ

全館利用者アンケート（令和元年11月。垂水図書館604件）、新垂水図書館アンケート（令和2年2～3月373件）より抜粋

- ・利用者数の割に手狭。広くして環境も整えてほしい
- ・もっと幅広い本を置いてほしい
- ・自習できる座席がほしい
- ・映画会や講演会や読書会を開いてほしい
- ・静かに調べものや学習ができる空間と、カフェコーナーやイベントルームが分かれているようにしてほしい
- ・自由スペースや、くつろぐスペースなど、また来たいと思える施設を

4. 必要な規模・設備

- ・垂水区日向1丁目4（現臨時駐車場）へ移転拡充。1階交通ロタリー等、2, 3階図書館閲覧室等
- ・専有面積 1500 m²程度、蔵書規模 10万冊 以上
- ・セミナー室、学習室、読書支援室、公衆無線 LAN、交流スペース、こどもトイレ、書籍消毒器等

3. コンセプト・基本方針等

人と本のみなと ～ 生涯の学びを支える情報拠点 ～

新垂水図書館は、人やものが集まる港のように、本や情報が集まる場所、人が集まり交流する場所となります。誰もが訪れやすく使いやすい場所、居心地よく過ごせる場所、必要な情報を選び取り創造性を育む場所、読書や学習意欲の向上と課題解決を支える場所となり、あなたの心のみなととして、日々の暮らしに寄り添います。

(1) 学びを支援する図書館

図書の閲覧や調べもの用の座席のほか、自習可能な座席を設置

(2) 子供の成長を見守る図書館

親子で気兼ねなく本を楽しめる環境や、同年齢の子供を持つ親同志が本を介して交流できる機会を提供

(3) 誰もが使いやすい図書館

ユニバーサルデザインの考え方を重視。障害のある方や高齢の方、幼い子供連れの方など、誰もが使いやすい図書館を目指す

(4) 街に開かれ、交流を促す図書館

世代や地域を超えてさまざまな人々が、本を介して出会い交流し学習する機会を提供し、地域活動を応援



5. 整備のスケジュール(予定)

- ・令和2年度～3年度 設計事業者決定～設計
- ・令和4年度～ 工事
- ・令和5年度～6年度 竣工